

## 総合文化研究科の学位論文審査基準

### 【修士論文】

#### 1. 審査体制

修士論文の審査では、近畿大学学位規程第 8 条(修士論文の審査)に従って、修士課程担当の指導教員の資格を有する者のうち 3 名以上をもって、そのうち 1 名を主査とし、残りを副主査とする。ただし、必要があるときには、他の審査委員(本学他研究科修士課程・博士前期課程、さらに他大学大学院の修士課程・博士前期課程において、指導教員の資格を有する者を含む)を副主査として加えることができる。

なお、原則として修士論文を提出した者の指導教員は主査になることができないこととする。ただし、論文審査において支障がきたす場合は、審査プロセスの透明性、公平性及び公正性を担保して、指導教員が主査になることが認められる。

#### 2. 資格要件

審査対象論文は、近畿大学学位規程第 7 条(修士論文の提出)の要件を満たすものとする。

#### 3. 評価項目

近畿大学学位規程第 10 条(修士論文合格基準)を踏まえ、以下に論文審査の評価項目を定める。

- (1) テーマの設定やテーマに即した研究方法が適切であること。
- (2) 文献や作品の読解に際して適切かつ真摯な態度で臨んでいること。
- (3) テーマや研究方法にしたがって資史料などを的確に収集し、その使用方法が適切であること。
- (4) 事実調査・文献資料などの探索を着実にを行い、先行研究を十分に検討・吟味していること
- (5) 既存の研究を凌駕する独創的な分析、解釈、提案等がなされていること。
- (6) 論文の構成に工夫があり、矛盾なく説得力のある論理展開がなされていること。
- (7) 適切な文章表現による論述がなされ、論文としての体裁が整っていること。

#### 4. 評価方法と判定

- (1) 全ての審査委員が、別表の学位論文評価基準表Aに基づいて各評価項目(各評価項目の比重割合:(1)15%、(2)15%、(3)15%、(4)35%、(5)10%、(6)10%を、2～35 点で評価する。
- (2) 当該修士論文の審査委員の主査は、近畿大学学位規程第 9 条(最終試験)及び近畿大学学位規程第 12 条(合否の決定)に基づき、論文審査と最終試験の審査において、評価点数が合計点(平均点)60 点をもって学位授与を可として、研究科委員会に学位授与の可否を報告する。研究科委員会は、近畿大学学位規程第 12 条(合否の決定)に則って、学位論文の審査と最終試験の合否を決定する。続いて、近畿大学学位規程第 13 条(学位の授与)に従って、研究科委員会は、合否の議決に意見を付して、大学院委員会の議を経て、学長に報告する。学長は、大学院委員会の合否の議決結果に基づき、修士の学位を授与する。

[学位論文評価基準表A]

※点数			
評価項目 〔比率〕	5点	3点	1点
1 テーマ設定と研究方法 〔15%〕	テーマの設定が適切で明確であり、それに即した研究方法が採られている。(15点)	テーマの設定が概ね明確であり、それに沿った研究方法が採られている。(9点)	テーマの設定が不明確であり、研究方法も適切とは言えない。(3点)
2 先行研究の収集と検討 〔15%〕	事実調査・文献資料などの探索が着実に行われており、先行研究が十分に検討・吟味されている。(15点)	事実調査・文献資料などの探索が行われており、先行研究が検討・吟味されている。(9点)	事実調査・文献資料などの探索が不足しており、先行研究の検討・吟味が不十分である。(3点)
3 資料の収集と使用方法 〔15%〕	テーマや研究方法にしたがって資料などが的確に収集され、適切かつ効果的に使用されている。(15点)	テーマや研究方法にしたがって資料などが収集され、概ね適切に使用されている。(9点)	テーマや研究方法に応じた資料などの収集が不十分であり、その使用方法も適切でない。(3点)
4 独創性 〔35%〕	既存の研究を大きく凌駕する独創的な分析、解釈、提案等がなされている。(35点)	既存の研究に対してある程度独創的な分析、解釈、提案等がなされている。(21点)	既存の研究に依拠することが多く、独創的な分析、解釈、提案等がなされていない。(7点)
5 論文の構成 〔10%〕	論文の構成がよく工夫されており、非常に説得力のある論理展開がなされている。(10点)	論文の構成に工夫があり、矛盾なく説得力のある論理展開がなされている。(6点)	論文の構成に工夫が乏しく、矛盾なく説得力のある論理展開がなされていない。(2点)
6 文章表現と体裁 〔10%〕	優れた文章表現による論述がなされ、論文としての体裁がよく整っている。(10点)	適切な文章表現による論述がなされ、論文としての体裁が概ね整っている。(6点)	文章表現が適切ではなく、論文としての体裁も整っていない。(2点)

※2, 4点: 下位の点数の全ての基準を満たしているが、上位の点数の全ての基準を満たしていない場合につける。